

クラス番号	629	担当教員名	小松 理佐子
テーマ	地域生活を支えるネットワークづくり		
著書・論文 研究課題等	『生活支援の社会福祉学』(共)有斐閣、2007年 『社会福祉の理論と運営—社会福祉とはなにか』(共)筒井書房、2012年 『対論 社会福祉学(第2巻)社会福祉政策』(共)中央法規出版、2012年		

ゼミナール概要

キーワード：生活支援、ネットワーキング、ニーズキャッチ

【目的】

このゼミでは、地域で生活する人々を支えるネットワークづくりについて考えます。地域で生活している人々の中には、障害や高齢などのために「ちょっとした支え」が必要な人が少なくありません。また、児童虐待や高齢者虐待、DV被害に逢いながら、自分からは支援を求められないで苦しんでいる人々もいます。他方では、「孤独死」にみられるように、支援が必要な人のもとに支援が届かず、最期を迎えられる人の問題も発生しています。こうした人々を支援するには、少数の専門職の力だけでは限界があり、多くの人々の協力が必要です。こうしたことからこのゼミでは、地域での協力体制づくりの方法の一つであるネットワーキングを取り上げます。

【内容】

1. 地域生活支援に取り組んでいる機関・団体の活動を学びます。
地域ではこうした課題に対して、NPO、民生委員、市民後見人などの形で、多くのボランティアが生活支援のための活動をしています。これらの人びとの活動の内容、役割、方法などを学びます。
2. ネットワークづくりに取り組んでいる機関の活動を学びます。
社会福祉協議会や地域包括支援センターなど地域のネットワークづくりに取り組んでいる団体の活動をもとにネットワークづくりの方法を学びます。
3. これらを踏まえて、①潜在的ニーズを発見するためのネットワークづくり、②日常生活を支えるための見守りネットワークづくり、について考えます。

【方法】

ゼミ生が関心のあるテーマごとに小グループを編成し、グループごとに文献学習を行います。その後、グループごとに実際に活動している機関・団体へのヒアリング調査を行い、レポートを作成します。

【授業計画】

- | | |
|-------|----------------------------|
| 4～5月 | ネットワークづくりについての文献学習とグループづくり |
| 6～7月 | グループごとの調査企画、調査の実施 |
| 夏休み | フィールドワーク |
| 9～11月 | 調査のまとめとレポート作成 |
| 12月以降 | 卒業論文の準備 |

※4年生のゼミでは、前期～夏休みに卒論指導を行い、後期は国家試験対策を行います。

担当教員からのメッセージ



ゼミのモットは、「よく学び、よく遊ぶ」。毎年夏休みには、山形県にバスでフィールドワークに出かけます。

卒業後に、出身地に戻って地域の福祉を支えたいと考えている人を歓迎します。